

# 講座「視覚障害者と共に歩く」

【団体名】点字サークル「あじさい」

【担当部署】健康福祉部 福祉総務課

【提案型】自由テーマ

## 1. 事業の目的

視覚障害者の生活を支える一助であるガイドヘルプの役割の必要性を広く知ってもらうこと、及び講座参加者のボランティア活動への参加のきっかけを作ること。

## 2. 実施内容

・講座「視覚障害者と共に歩く」

日時： 令和4年1月15日（土）

会場： 蕨市立文化ホールくるる3階多目的ホール

参加者数： 26組28名（内ヘルパー2名）

内容： 視覚障害者の生活を支える上での、ガイドヘルプの役割と必要性を「特定非営利活動法人視覚障がい者支援しろがめ」の村上琢磨氏の講演から学んだ。

▼客席の様子



▼講演の様子



### 3. 役割分担

団体：講座の企画、立案、周知、開催、運営に関すること

市：活動へのアドバイス、経費補助、公民館使用許可申請、講座の周知、開催、運営のサポートに関すること

### 4. 事業費と主な支出内容

(1) 事業費：総額 74,960 円

(2) 支出の主な内容

報償費（講師謝礼）、印刷製本費（チラシ作成）、使用料（会場使用料）等

### 5. 協働による効果

講座の開催により、参加者の方にガイドヘルプの必要性和視覚障害のある方への接し方や支援方法を身近に感じていただけたこと、また、これをきっかけに視覚障害のある方への支援の担い手が増える効果があったものと認識している。

### 6. その他の成果・感想・今後の課題など

#### 【団体より】

講座参加者のアンケートから、視覚障害者の方々に対する接し方を身近に感じたという感想も多くあり、ガイドヘルプの必要性及び理解が得られたものと思う。その結果として、参加者の中から「点字サークルあじさい」及び「ボランティアガイドヘルプ One&One」への入会希望者を得ることができた。

#### 【担当課より】

今回の提案の趣旨は、2019年度の協働事業と同様に、蕨市障害者計画の中で重点施策と位置付けている、「ボランティアの育成」及び「ノーマライゼーション理念の普及・啓発」に当てはまる重要なものであり、また、障害者計画の基本理念である「障害のある人とない人が、地域でともに支え合うまち わらび」に適った素晴らしい取組であったと認識しております。

支援の担い手が増え、ガイドヘルプの必要性が広く認識されたという意義は大変高いため、今後も積極的に協働していきたいと考えております。